



く に み

広報

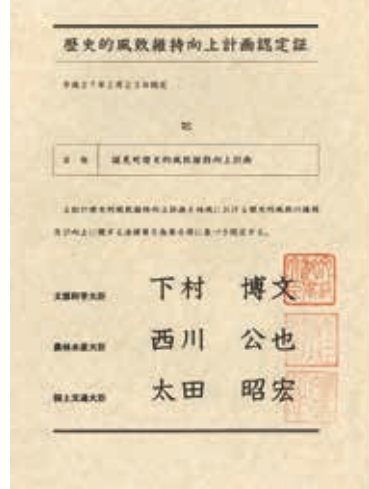
No. 500

2015
3
平成27年3月

広報誌発刊500記念

く に みの た から

みなさんの笑顔に支えられ、一つずつ実を結び続けた「広報く に み」。おかがさまで、昭和48年6月に発行した創刊号から数え、今月で500号を迎えました。



左から：認定証を受け取った京都府向日市長、うへの国土交通大臣政務官、太田久雄国見町長、奈良市副市長

認定証

「つなげる。未来へ国見のまちづくり」

国見町歴史的風致維持向上計画が国の認定を受けました。

少子高齢化や生活様式の多様化により、町内には空き家が目立ち、祭礼も慢性的な後継者不足となっています。町では、この計画策定を

未来に「国見のたからもの」を

平成27年2月23日、歴史的風致の魅力を高め、歴史と文化を活かしたまちづくりを進めるために策定した「国見町歴史的風致維持向上計画」が国（文部科学省、農林水産省、国土交通省）の認定を受けました。今回は当町の他に、京都市向日市、奈良市の2市1町が認定を受け、福島県では白河市に続き2番目の認定となりました。

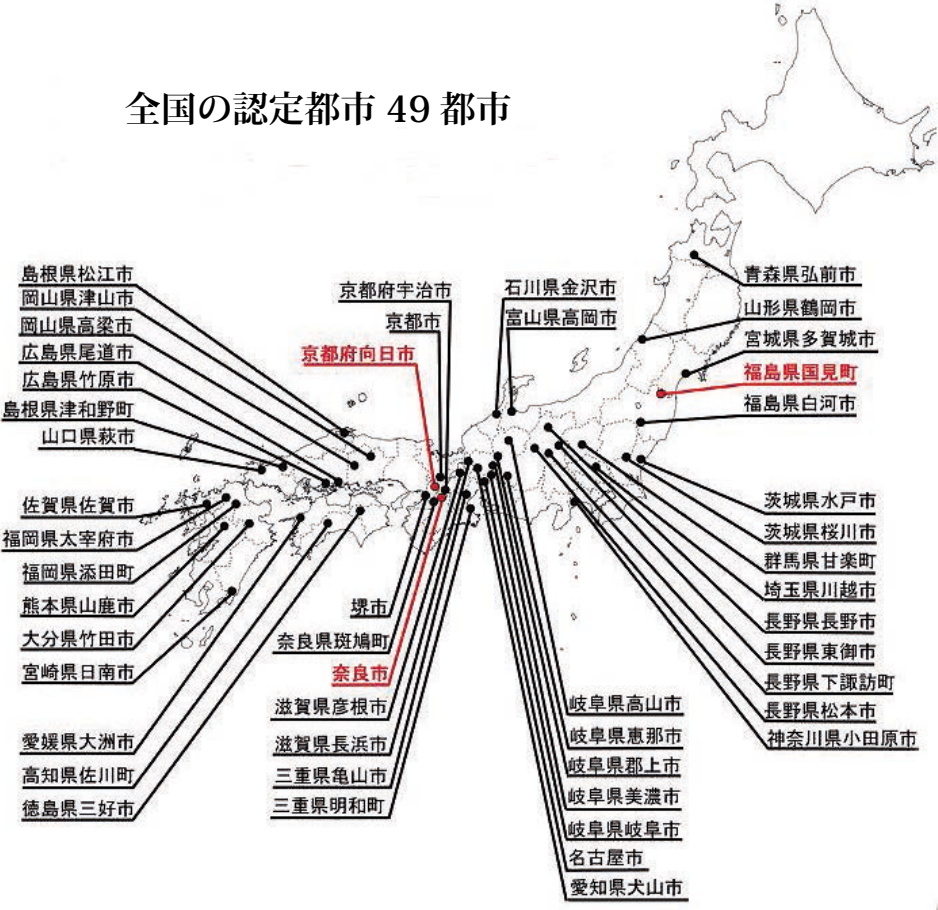
豊かな自然と人々の素朴な生活そして、先人たちが残した伝統・文化すべてが、国見町固有のものであります。それらは、国見ならではの風情や情緒を感じることのできる歴史的風致※（右下に説明）です。



御瀧神社境内の湧水池「大滝」（所在地：国見町大字光明寺字滝沢地内）
光明寺集落の御瀧神社境内には、豊富な地下水が湧き出る泉「大滝」「小滝」が存在し、神池として信仰されています。家々の水場から周辺の水田にいたるまで潤す湧水は、豊かな実りをもたらし、集落一帯を清浄な空間としています。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】

全国の認定都市 49 都市



きつかけとして、国見町固有の歴史的風致の魅力高め、未来へつなげるとともに、これからのまちづくりに活かし、町活性化の一翼を担えるように取り組んでいきます。

※歴史的風致とは
日本には、そこでしか感じるできない風情や情緒があり、それらは、そこに住む人々の営みや歴史、伝統によって形成されています。「歴史的風致」とは、地域に住む人々が受け継いできた伝統や活動と、歴史的建造物が一体となって形成した良好な環境です。

目次

2	目次
3	国見町歴史的風致維持向上計画が国の認定を受けました
10	広報くにみ500号
12	くにみ春のフードフェスタ
14	町からのお知らせ
17	復興のあしおと
18	笑顔のひろば
19	藤田保育所・ももたん広場
20	町のサークル（国見町将棋同好会）
22	小さな天才たち 県北中学校 3年生
24	まちのわだい
26	保健だより
28	くらしの情報
	生涯学習つうしん
	カレンダー



今月の表紙は、今回認定を受けた歴史的風致維持向上計画で取り上げている、国見町の「たからもの」です。詳細については3ページから掲載してあります。

歴史的風致維持向上 計画認定記念 第4回国見町 歴史まちづくり シンポジウム 『国見町の歴史まちづくり』

- 日時 3月21日(土)
午後1時30分から午後4時30分
(開場：午後1時)
- 会場 観月台文化センター
大研修室
- 内容
【講演】
「全国の歴史まちづくりの動き」
国土交通省
景観・歴史文化環境整備室
課長補佐 森口俊宏氏
【報告】
「国見町歴史まちづくり計画に
ついて」
国見町歴史まちづくり推進室職員
【意見交換・総括】
東北大学名誉教授 入間田宣夫氏
※国見町歴史まちづくり計画策定
委員会委員長
- 申込・参加料 不要
- 定員 100名(先着順)
- 問い合わせ先
歴史まちづくり推進室
☎：585-2676(直通)
FAX：585-2181(代表)



学生の視点で考える国見町のまちづくり 平成26年度域学連携成果報告会

今年度連携協定を締結した、桜の聖母短期大学・福島大学(詳細は昨年の5・10月広報)の学生が町をフィールドとした調査・研究を1年間続けてきました。今回、その成果報告会を2月11日、14日に開催し、発表と学生を交えたグループワークによる意見交換が行われました。

国見まちづくりカフェ

2/11



福島大学大学院生(主任指導教員：菊地芳朗教授)と桜の聖母短期大学生(主任指導教員：池田洋子教授)による発表が観月台文化センターで行われ、約100人が参加しました。福島大学生は、「国見町の歴史まちづくり」をテーマに発表を行い、住民自らの語りが資源となる視点、地域の祭りが復興につながるなどの主張など5つの提言がなされました。桜の聖母短期大学生は、「食育推進～地域の食材を使った子どものおやつ～」をテーマに、桃を使ったレシピを、果樹農家の思いを学び開発した経過が発表されました。

内谷地区地域づくりカフェ

2/14



福島大学岩崎ゼミナール(指導教官：岩崎由美子教授)による「内谷集落活性化フィールドワーク」が鳥取・内谷防災センターで行われ、約40人が参加しました。聞き取り調査などから、地域の資源や課題を明らかにし、集落の弱みを強みに、好機によって課題を克服する活性化策について発表があり、住民からも多くのコメントがありました。



計画の策定は
国見を知ることでした

もっと国見らしさを
もっと地域に根差して

計画で終わらせない
かがやく国見へ

- 1 どの本にも残されていない、貴重な大正・昭和の国見について伺う。
- 2 現在も受け継がれる光明寺の水利用。
- 3 鹿島神社若連事務所を視察する国(国交省・文化庁・農水省)の担当者。
- 4 歴まち計画策定委員会から太田雄町長へ計画(案)を建議

本計画は、当町の多様な文化や風習・自然・人々の思いなどに光をあて、時に見過ごされることもあった「たからもの」を再発見することから始まりました。昨年4月から策定にむけた作業が始まり、町内各地の、祭りや生活文化など様々な伝統行事を調査しました。現地では、多くの方に協力いただき、これまでの歴史や継承してきた人々の思いを伺いました。国見を形づくる各地の魅力が、計画の柱となっています。

現地調査と平行して「国見町歴史まちづくり計画策定委員会」(委員長：入間田宣夫東北大学名誉教授)を発足。委員会は、文化財や都市計画(まちづくり)・景観などの専門家・関係行政機関に加え、これまで地域のたからを守り伝えてきた町内団体・所有者等により構成されました。会議では、雄大な景観や自然に育まれた「国見らしさ」とは何かを探求すべく議論が重ねられ、パブリックコメントを経て12月に太田久雄町長に建議されました。

計画では7つの歴史的風致を取り上げ(詳細6・7P)、各風致の課題・方針から15の事業を今後10年間で実施することを定めました(詳細8・9P)。特に、町の歴史性の根源として800年の間守られてきた国史跡「阿津賀志山防塁」を中核とする重点地区には、勇壮な「鹿島神社例大祭」や「農業市・だるま市」「水利用」などの伝統的な祭礼や生活文化が継承され、地域固有の石材資源を用いた建築・加工技術を元とする産業が受け継がれています。

また、周囲にも神楽や「講」のコミュニティを残す集落の活動が存在します。無形民俗文化財活動支援事業や文化遺産の総合的把握に向けた調査事業などを行い、保護・継承につなげていきます。様々な課題とともに、東日本大震災からの復旧・復興に取り組み国見町にとって、本計画は町の再生に向けたまちづくりの軸となるものと考えます。1000年培われてきた知恵・文化・歴史を受け継ぎ、未来へ伝えるため計画を推進します。

interview



歴まち計画策定委員会
委員長 入間田宣夫氏

これまで阿津賀志山防塁を中心とする「史跡のまち 国見」に約30年間関わらせていただきましたが、石のまち、水の利用、伝統的なお祭などの新たな魅力を知ることができました。これらの魅力が震災を乗り越え、愛着をもって継承されている様子は、「町の誇り」であると感じます。今後も、思いを共有する町民の皆さんが主体となって携わり、歴史を活かしたまちづくりを進めることが、未来の子ども達が頑張れる糧になるのではないのでしょうか。

国見町の維持向上 すべき歴史的風致

国見町は、古代より陸上・河川交通の要衝であり、複数の峠が所在する境界の地でもありました。この地勢的特徴を反映し、源頼朝と奥州藤原氏の数万の軍勢が文治5年(1189)に戦いを繰り広げた古戦場の「阿津賀志山防塁」(国史跡)が現在に守り伝えられています。また、江戸時代に3か所の宿場

が所在し、かつての養蚕業の隆盛を反映した農村集落とともに歴史的景観を形成しています。豊かな自然と一体となった伝統的な祭礼や信仰・生業に伴う活動が残され、国見町独自の建造物や営みが地域の人々により脈々と受け継がれていることで、本町独自の歴史的風致が醸し出されています。



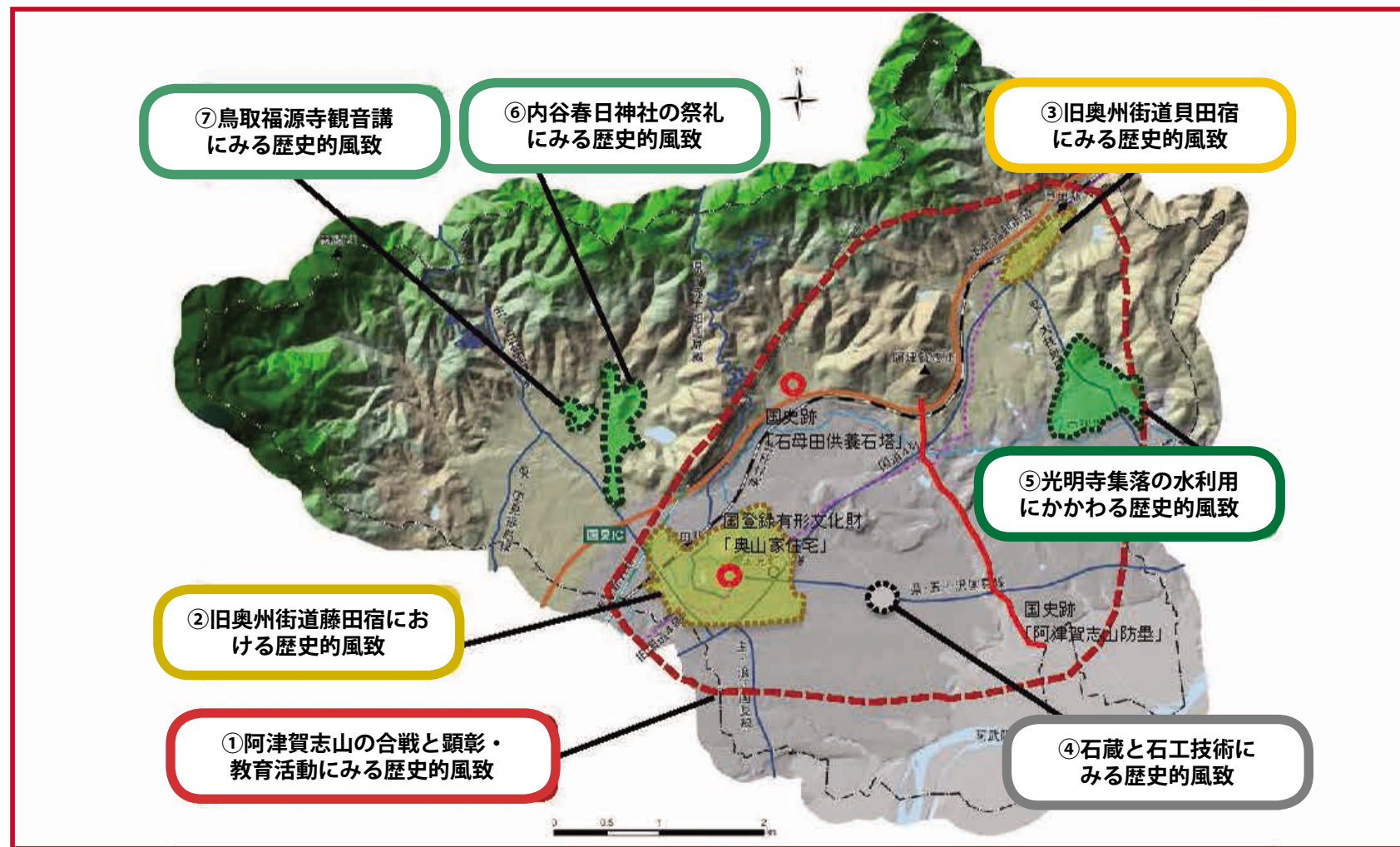
* 阿津賀志山全景



* 国史跡「阿津賀志山防塁」(下二重堀地区)



* 国登録有形文化財「奥山家住宅」



① 阿津賀志山の合戦と顕彰・教育活動にみる歴史的風致

阿津賀志山とともに本町のシンボルである「阿津賀志山防塁」は、合戦が行われてから800年間、人々により守られてきました。現在も顕彰・教育活動が行われ、町民が共有する誇りと町の歴史性を感じる場所となっています。

* 顕彰・教育活動 (案内活動)

② 旧奥州街道藤田宿における歴史的風致

旧藤田宿では、山車と神輿が激しくぶつかる、もみ合いを特徴とする「鹿島神社例大祭」と、江戸時代に行われた六斎市の名残をとどめる「農業市」「だるま市」が現在も行われています。町並みの歴史と伝統を反映した活動が多くの人々により受け継がれています。

* 鹿島神社例大祭 (もみ合い) * 農業市

③ 旧奥州街道貝田宿にみる歴史的風致

宿場の名残と明治・大正期の歴史を色濃く町並みに残す旧貝田宿では、祭礼や最禪寺の観音講などが貝田の歴史を反映し、人々の絆を深める活動として行われています。

* 観音堂 * 秋葉神社例大祭

④ 石蔵と石工技術にみる歴史的風致

国見石が産出する本町の特徴的な産業である石材業は、大正・昭和の歴史的な石蔵とともに守られています。石工技術により町内一円に建築された石蔵が、本町を特徴づける固有の景観となり残されています。

* 現在も使われている石材加工場

⑤ 光明寺集落の水利用にかかわる歴史的風致

光明寺集落では、清らかで豊かな湧水が伝統的な水利用と信仰に結びついています。湧水と信仰に伴う活動により清浄な空間が作り出され、現在も歴史的な寺社が残る聖域を形成しています。

* 湧水を利用した水場

⑥ 内谷春日神社の祭礼にみる歴史的風致

内谷春日神社では、祭礼で奉納される太々神楽が明治15年(1882)より地区の人々の協力により継承されています。社殿に響く太鼓と笛の音色が、地区の伝統芸能と祭礼のにぎわいを伝えています。

* 内谷春日神社太々神楽

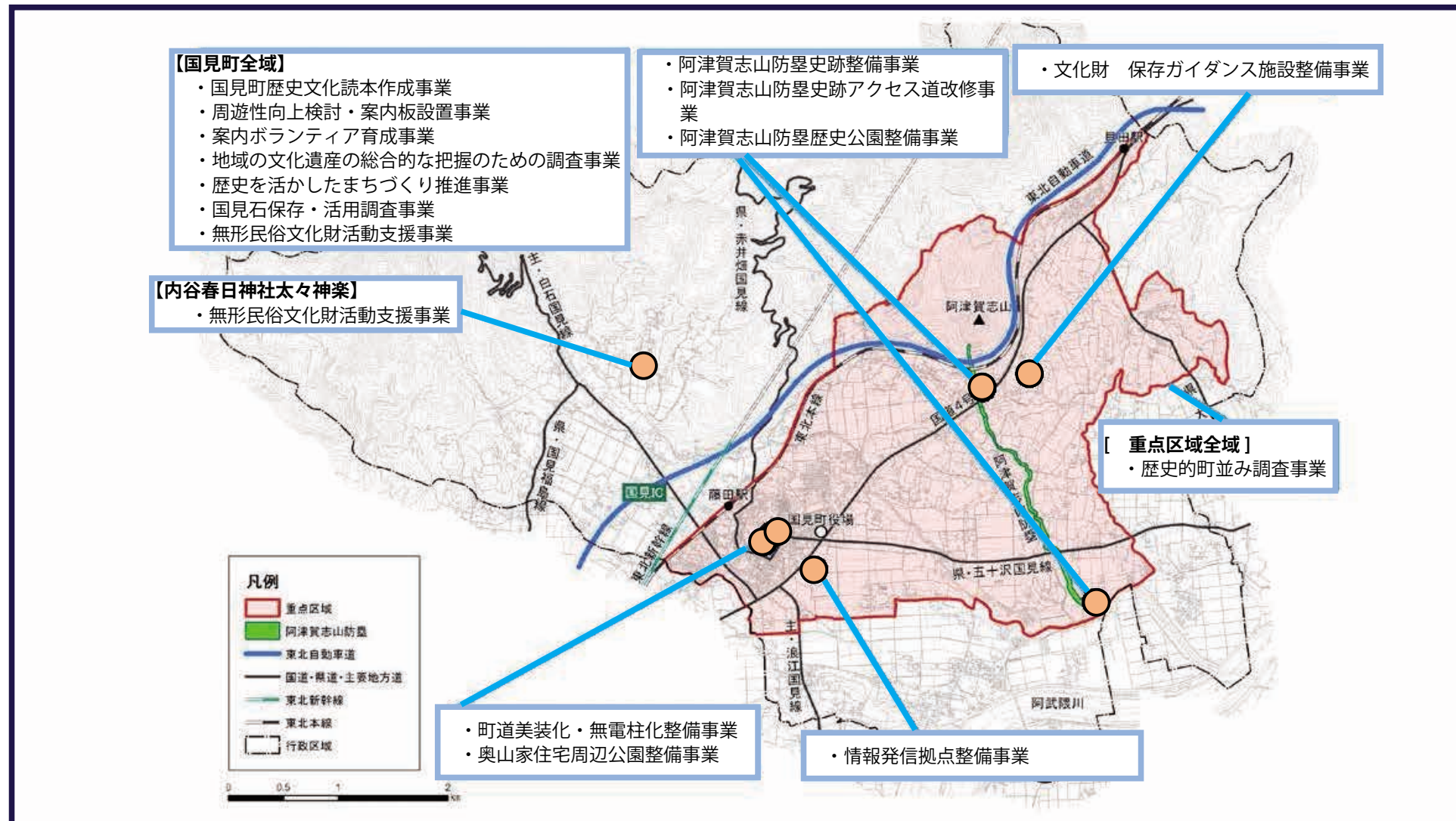
⑦ 鳥取福源寺観音講にみる歴史的風致

鳥取集落では、福源寺地蔵庵観音堂を観音講の人々が守り、巡礼者へのもてなしや法会が行われています。観音信仰が地域に根付き、鳥取集落の人々により活動が続けられてきています。

* 福源寺観音堂の天井絵

国見町の重点区域における 事業概要

重点区域の名称 国見町歴史的風致維持向上区域
重点区域の面積 1,115 h a



○情報発信拠点整備事業

来町する人々が、歴史文化遺産に係る情報を容易に入手できる、エントランス的機能をもつ「道の駅」の整備を行う。

*「道の駅」建物イメージ図



○案内ボランティア育成事業

町の歴史や人々の伝統的な活動や町並みと現在の国見町について語るができる人材の育成を図る。

*案内ガイドの様子



○無形民俗文化財活動支援事業

祭礼や神楽等の伝統芸能の活動内容の把握と映像による記録作成など、学術調査とともに、用具の修繕や活動の支援を行う。

*内谷春日神社太々神楽



- 国見町歴史文化読本作成事業
- 歴史を活かしたまちづくり推進事業
- 周遊性向上検討・案内板設置事業
- 地域の文化遺産の総合的な把握のための調査事業
- 文化財保存ガイダンス施設整備事業

- 阿津賀志山防塁史跡整備事業
- 阿津賀志山防塁史跡アクセス道改修事業
- 阿津賀志山防塁歴史公園整備事業

阿津賀志山防塁の発掘調査・史跡の復原整備とともに、下二重堀・国道4号北側地区周辺に便益施設・ガイダンス施設を伴う歴史公園の整備、アクセス性向上のため町道改良を行う。



*駐車場・園地等の整備イメージ図

○国見石保存・活用調査事業

国見町の景観を特徴づける石蔵等の石造建造物を悉皆的に調査し、今後の利活用の検討を行う。

*旧小坂産業組合倉庫



○歴史的町並み調査事業

重点区域内に所在する歴史的建造物の調査を進め、町並みの把握と歴史的風致形成建造物への指定を推進する。

*町並み調査の様子



- 町道美化・無電柱化整備事業
- 奥山家住宅周辺公園整備事業

国登録有形文化財「奥山家住宅主屋・洋館」周辺の園地を整備し、隣接する町道2114号の美化・無電柱化整備を行い、良好な景観形成とにぎわいのある空間を創出する。



*奥山家住宅

広報くにみの作り方

①企画・情報収集

町民の方々から頂いた情報や町からのお知らせ、イベントなどを精査し、何を伝えるべきか、どこにどの記事を掲載するかを考えます。

②取材

町の広報担当が直接出向くようにしていますが、行事が重なった場合は町民のみなさんに写真等をお願いすることもあります。写真撮影では、記録写真ではなく笑顔の写真に心がけています。



③編集

文章の編集、写真の加工等はパソコンで行います。



④入稿

編集したデータを印刷会社に渡します。

⑤校正

入稿したデータを印刷会社が印刷。みにくいとこや、文章を確認。修正を行います。

⑥印刷

広報は毎月3,800部印刷・製本されています。

⑦納品・配達

広報くにみの発行は毎月5日から10日の間の月曜日が金曜日になります。各家庭の配布については町内会長さんをお願いをしています。

表紙のあゆみ



創刊号
昭和48年6月
広報くにみの創刊号。同じ場所は・・・探してみました。



50号
昭和52年8月
表紙は、キラキラしていた方が飾っていました。



100号
昭和56年10月
町会計決算状況が掲載。当時は総額約22億円でした。



150号
昭和60年12月
ミス国見コンテストがあり、ミスはトラックに乗りパレード。



250号
平成6年4月
この月、観月台文化センターがオープン。館内図を大きく掲載。



300号
平成10年2月
この号はごみへのマナーが大きくとりあげられていました。



400号
平成18年10月
町会計決算状況が掲載。総額約40億円でした。



450号
平成22年12月
ももたんが初登場。でも、今月パワーアップしたももたん登場。



200号
平成2年2月
当時献血をすると氏名が広報に掲載されていました。



350号
平成14年8月
柏葉体育館がオープン。学びの場として利用されています。



500号
平成27年3月
国見町歴史の風致維持向上計画認定。

広報くにみ 500号 町民のみなさんに親しまれる 一番身近な情報発信誌へ

2015.3

行政情報やみなさんの姿など、町の動きをより早く、より正確に、そして、より楽しく見ていただけるよう、少しずつ前に進んできた広報くにみ。これからも、この町を誇れるような、もっと好きになるような、みなさんの記憶に残るような「いま」を伝えていきたいと思っています。今後とも、よろしくお願いいたします。

パソコンやスマートフォンが普及し、いつでも世界中の情報が手に入る「いま」。国見町でも、ホームページを通して、みなさんにイベント・町からのお知らせを発信しています。しかし、こんな便利な世の中になっても、広報「くにみ」は町内会長を通じて各家庭に配布されます。「誰でも、手に取り、見ることが出来る。町の動きを知ることが出来る」こんな身近な情報誌は広報ならではの特色です。

広報くにみが 目指すもの

町の情報伝えるとき、に注意しなければならぬことは行政から一方的にならないこと。難しい言葉、カタカナ言葉を並べないこと。わかりやすい言葉で伝えなければ意味がありません。また、手にとり、読んでいただくために重要なことは、主役は、町民のみなさんということです。みなさんの笑顔や一

生懸命頑張っている姿。写真は、言葉以上に伝えることができます。写真一枚が読者の目を引き、また、見てみたい、自分も出てみたいと思ってもらえるような広報をと思っています。(これが、大変に難しいのですが。)

町には、千年の歴史があります。「千年のまち、これから百年のまちづくり」郷土に誇りをもち、町を好きになってもらい、そして、これから百年の町を一緒に造っていったら。広報くにみはみなさんと一緒に紙面に息を吹き込みたい。そのためにも、みなさんの声を聴かせてください。小さな声でも、集まることにより大きな声になり、やがて原動力になる、内なる力を秘めているはず。自分たちの町を良くしようと、「いま」産声をあげようとしている、みなさんの声。を聴き、みなさんにお伝えしたいと思えます。ぜひ、意見ご感想があればお寄せください。お待ちしております。

広報くにみの歴史

広報くにみは、昭和48年6月1日に産声を上げました。

当時町の世帯数は約2600世帯。創刊号はB5版(現在は一回り大きなA4版)、8ページ、黒単色の広報でした。今も昔も、みなさんのお手元に届くその情報誌には、行政からのお知らせはもちろん、地域の話やニュース、町民のみなさんの笑顔もお届けしています。

創刊号から創刊号が発行された昭和48年は第二次ベビーブーム。昨年の国見町の出生者数は年間約40人。創刊号に記載されていた2か月間の出生者数は34人。2か月で今の1年間に生れた赤ちゃんと同数。時代を感じさせます。

くにみ春のフードフェスタ」



ブースは、54店舗、約200種類の食べ物であふれ、会場はおいしいにおいでいっぱいとなり、開店を待ちきれない人たちであふれました。

また、商工会青年部のブースでは、国見バーガー第3弾「防塁ドッグ」がデビュー。これは阿津賀志山防塁にちなんでホットドッグで、コッパンにごま味噌風味の特製ソーセージをはさんだものです。

特設ステージでは、みちのくボンガーズ「パチッコリン」の軽快な司会で、町体育協会の3B体操・健康体操、春日神社太々神楽の奉納、よさこい踊りなどが繰り広げられました。恒例となった、商工会青年部企画の「国見バーガー早食い選手権」も行われ、大人の部、子どもの部など、雨を吹き飛ばす熱い戦いが繰り広げられ、多くの観客から歓声が上がりました。

閉会式は、会場の全員で、元気よく「フードフェスタ！次回も食べ尽くしちゃってちょーだい！」と声をそろえ、締めくくりました。

あいにくの雨模様の1日でしたが、町内外から大勢の人が来場し、「おいしい」「たのしい」の声に満ちた1日となりました。

3月1日、藤田商店街特設ステージで「奥州街道ど真ん中！くにみ春のフードフェスタ」が開催されました。

開会式では、実行委員会石塚勝美委員長、共催者を代表して太田久雄町長があいさつし、八島博正議長をはじめとした来賓祝辞の後、石塚委員長の開会宣言でフードフェスタがスタートしました。

屋台・キッチンカー



①子どもの部国見バーガー早食い。一点を見つめて、手に持ったバーガーと格闘中②食べたらこんなに大きくなりました。③桜の聖母短期大学学生による、食育④食の祭典。食べてる時が幸せ⑤楽人のまなざし⑥親子でご来場ありがとうございました⑦始まる前の楽人の微笑み⑧雨の中多くの人出



自分の言葉でしっかりと町について発表します

2月28日、みらいホール国見で第19回福島大学地域創造支援センター地域フォーラムが、青年農業者、商工会青年部、子育て中のママ、一般町民の方約100人が参加し行われました。

午前中は「こうだったら良いのにな。くにみ」について4グループで、話し合いが行われました。各テ

ブルには、いろいろな方が入ることで様々な意見がだされ、活発なグループワークとなりました。

午後からは、福島大学岩崎由美子教授による基調講演があり、岩崎教授が国見町に学生と一緒に調査し、町について感じたこと、発見したことについて話をされました。町民にとってはごく当たり前の風景や物でも、町外の方から見ると国見には「宝」がごろごろ。同じ見方ではなく、いろいろな角度から町を見渡すのも大事であることを話されました。ワークショップの発表では、各グループがそれぞれ自分の言葉で、しっかりと自分の考えを述べていました。若い人が、町のことを本気で考え、子どものためにがんばっている姿は「キラキラ」そのものでした。

こうだったら良いのにな。くにみ 第19回福島大学地域創造支援センター 地域フォーラム 国見町地域フォーラム



木目は宝物、こんな気持ち忘れていませんか

※木育とは…幼児から高齢者までを対象とした、生涯にわたる幅広い活動です。

例として

- ・子どもたちが木と触れあう活動
- ・木を使った遊びやものづくりに親子で挑戦
- ・大人が自分のために趣味で行うものづくり
- ・森林での間伐体験と間伐材の利用についての学習…

2月24日、観月台文化センターで東京おもちゃ美術館長・日本グッド・トイ委員長理事長の多田千尋さんを迎え、職員・林業関係者を対象に※木育講演会が行われました。

講演会では、「木」を真ん中に置いた子育て・子育て環境を整備し、子どもから高齢者までの全ての人が、木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らしてほしい。そのために

は、生まれた赤ちゃんに地産地消の木材の木製玩具を誕生祝い品としてプレゼントし、最期は国産の棺桶で迎えるウッドエンド。初めから最期までを「木」の温もりで…。暮らしの中に「木」を取り入れていく講演でした。また、子どもにとつて「杉の木目」は宝物に見える。大人は気が付かない。夢のある話の続きは、また近いうちに。

「赤ちゃんから始める木の暮らし。ウッド・スタートで地域を変える」

リサイクルの日の変更について

4月1日より、リサイクルの日（資源回収の日）を下記のとおり変更いたしますので、ご注意ください。

収集地域	リサイクルの日 (変更前)	リサイクルの日 (変更後)
藤田・上野・山崎（線路東側）	第2土曜日	第2土曜日
板橋・板橋南・塚野目（一部）	第4土曜日	
石母田・山崎・鶉町・滑沢	第2土曜日	第4土曜日
小坂・森江野・大木戸・大枝	第4土曜日	

- ①収集日、分別区分を守りましょう。
⇒分別されていないごみは回収されません。
- ②ごみは収集日当日の朝8時までに出しましょう。
⇒前日やごみ収集後に出しますと、カラスやネコ等小動物の被害にあう恐れがあります。
- ③ごみは指定されている袋、コンテナで出してください。
⇒もやせるごみ、ガラスびん、ペットボトル、容器包装プラスチックごみは『指定の袋』に、もやせないごみは『指定のコンテナ』に入れて出してください。
- ④ごみは自分の町内会の収集所に出してください。
⇒自分の町内会以外のごみ収集所に、ごみを出している人が見られるとの声が役場に寄せられています。

◆問い合わせ 住民生活課住民防災係 ☎ 585-2116

「くだもの王国ふくしま」を全国へPR

「くだもの王国ふくしま」を笑顔で全国へPR！ 2015 ミスピーチキャンペーンクルー募集
福島県の果物を全国にPRしてみませんか。明るく元気な方のご応募お待ちしております。

- 応募資格／①から③の全てに当てはまる方
 - ① 18歳以上の方（高校生は除く）
 - ② 県内に実際に居住、または在勤・在学の方で、福島市役所などに通勤可能な方
 - ③ 果物のPR事業など、6月から8月を中心に年間20日程度活動できる方（特に6月末から8月末までの期間は、PR活動に専念できること）
- 募集人員 12名以内
- 応募方法 福島県くだもの消費拡大委員会のホームページから応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入して直接又は郵送・FAXでご応募ください。
URL <http://www.f-kudamono.com>（希望者には郵送も可）。
- 応募先 〒960-8601 福島市五老内町3-1 福島市役所農業振興課内「キャンペーンクルー」係
- 応募締切 4月17日（日）※当日消印有効
- 選考会 4月25日（日）こもこも（詳しくは応募者に通知します。）
- 各賞 賞状、トロフィー、旅行券（10万円相当）、後援団体からの記念品
- 問い合わせ 福島県くだもの消費拡大委員会（福島市役所農業振興課） ☎ 525-3727
FAX 533-2725

ももたん広場 入場者5万人達成！



左から榊原結空ちゃん（2歳）千空ちゃん（3歳）

2月13日、原発事故後、子どもたちが安心して遊ぶことができるように平成25年7月にオープンした「くみにももたん広場」の来場者数が5万人を超えました。

5万人目のかわいいお客様は伊達市の榊原千空ちゃん（3歳）、結空ちゃん（2歳）の姉妹です。会場には祖父の和男さんと祖母の多美子さんと遊びに来てくれました。

セレモニーでは、太田久雄町長から5万人目の認定書とプレゼントが手渡されました。

また、4万9,999人目の国見町の村上琴美ちゃん（2歳）と5万1人目の桑折町の小島璃子ちゃん（6ヶ月）にもそれぞれプレゼントが手渡されました。



小島璃子ちゃん（6ヶ月）

村上琴美ちゃん（2歳）

ももたんパワーアップ♪

子どもたちに大人気のももたんが、パワーアップしました。

今までのももたんよりも、頭がちょっぴり小さく、あま〜く熟して、前よりも可愛くなったよ。

ももたんは、いろいろなイベントでみんなに会えるのを楽しみにしています。



パワーアップしたももたんから一言「みんな、僕のことをイベントなどに呼んでね。お声がかかるの待ってるからね。パワーアップ!!」

ありがとうございました



2月26日、前澤化成工業株式会社から寄付金をいただきました。前澤化成工業(株)は震災後日本赤十字を通じて寄付を行っていましたが、昨年からは内陸部の被災地に直接手渡しを行って来ました。今回についても、北日本支店晴山貢支店長から太田久雄町長に直接手渡されました。太田町長からは「震災復興に向け、役立たせたい」とあいさつがありました。



自家消費野菜等の放射能濃度測定 まるごと測定できる 非破壊式測定器を導入

このたび、自家消費野菜等の食品を細かく切りきざむことなく、そのままの状態での放射能濃度の測定が可能な非破壊式測定器を1台導入いたしました。

この測定器は、食品をそのまま測定できるため、測定後にお持ち帰りいただけます。下記により測定を行いますので、お知らせします。

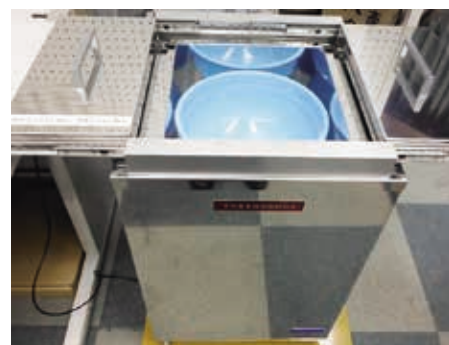
また、現在行っている破壊式（細かく切りきざむ）測定器での測定についても、引き続き行います。

1. 非破壊式測定器での測定の受付について

- ① 受付開始 3月5日(金)から ※土日祝日は除く
- ② 受付時間 午前8時30分から午前11時30分 及び午後1時から午後4時30分
- ③ 受付場所 国見町観月台文化センター 地下1階 演習室
- ④ 測定対象 出荷・販売等を目的としない自家消費野菜等に限りします。
- ⑤ 測定費用 無料
- ⑥ 持参物 ア「自家消費野菜等を500グラム以上」、イ「印鑑」、ウ「身分証明書（免許証、保険証等）」

2. 非破壊式測定器での測定について

- ① これまでの測定同様、基準値（100Bq/kg）以内かどうかを調べること（スクリーニング）が測定の目的です。
- ② 測定結果に関する証明書の交付は行いませんので、証明書が必要な場合は、これまでどおり別途専門の検査機関を紹介しします。
- ③ 当面、1日あたり1世帯1品とします。
※混雑時には測定が翌日以降になる場合がありますので、ご理解をお願いします。
- ④ 測定品の土や泥などをよく洗い流し、大きい（長い）サイズのもののはタテ・ヨコ・高さが15cm以内になるよう切り、ビニール袋に二重に密封してご持参ください。



新たに導入された「そのままはかるNDA-2」

◆問い合わせ 原発災害対策課 ☎ 585-2158

住宅除染の進捗状況

住宅除染の実施状況をお知らせします。(3月2日現在)

方 部	平成26年度計画分			平成25年度実施分	除染完了計
	事前モニタリング	除染着手	除染完了		
藤田方部	677件	602件	593件	360件	953件
小坂方部	311件	218件	134件	310件	444件
森江野方部	292件	252件	245件	190件	435件
大木戸方部	290件	283件	257件	60件	317件
大枝方部	68件	68件	68件	129件	197件
合 計	1,638件	1,423件	1,297件	1,049件	2,346件

「子育て応援パスポート（ファミたんカード）」

福島県では、子育て中の方が協賛店で「子育て応援パスポート（ファミたんカード）」を提示すると、様々なサービスを受けることができる事業を実施しています。

3月上旬より、有効期限が「平成32年3月31日」の新しいファミたんカードを、保育所、幼稚園、学校等を通してお子さんに配付しています。お子さんが保育所等に所属されていない場合や、3月末までに受け取れなかった場合、カードをなくしてしまった場合は、幼児教育課でお申込みください。



【対象】0歳から18歳未満（18歳に達して最初の3月31日を迎えるまで）の子ども

【配付枚数】対象者一人につき1枚

※各種サービスの提供は協賛店のご厚意によるものです。

※ファミたんカードを使用する際は、ご利用の前に必ずお店の方にサービス内容を確認してください。

◆問い合わせ 幼児教育課 ☎ 585-2119

あなたの気持ちお話しください！ 3月は自殺対策強化月間です

仕事や学校など生活環境が変わる3月は精神的負担がかかりやすい時期と言われています。

みなさんは、「心の健康管理」できていますでしょうか。「最近眠れない」「小さなことでモヤモヤしてしまう」「誰に相談してよいのか分からない」など知らず知らずのうちにストレスを抱え、一人で悩んでいるということはありませんか？

または、そのように困っている人を見かけている方はいませんか？

●内閣府では24時間対応の電話相談「よりそいホットライン」を実施しております。ガイダンスで専門的な対応も選ぶことが出来ます。(外国語含む)ぜひお気軽にご利用下さい。

☎ 0120-279-226

●保健福祉課でも保健師による心の健康相談を受け付けています。お気軽にご相談下さい。

受付時間：8時30分から午後5時15分
(土日、祝日を除く)

☎ 585-2793 社会福祉係

～保健福祉課へ相談をご希望される方へ～

※秘密は厳守いたします。来所で相談をご希望される場合は、事前に日時・場所を調整させていただきます。費用等はかかりません。

◆問い合わせ 保健福祉課社会福祉係
☎ 585-2793

イキイキ子育てクラブ会員募集

地域子育て支援センター（藤田保育所内）では、平成27年度もイキイキ子育てクラブを実施します。興味がある方は、ぜひご参加ください。

◆実施期間 平成27年5月から平成28年2月まで

◆場所 藤田保育所

◆主な活動内容

季節遊び（夏まつり、野菜スタンプ、小麦粉粘土、運動会）人形劇鑑賞、親子ふれあい体操、誕生会、おもしろマジック、ふれあい学習遊び

◆対象 就学前のお子さんを持つ保護者など

◆申込締切 4月30日(金)まで

※申込み、問い合わせについては土日、祝日を除く午前10時から午後3時まで、直接藤田保育所まで連絡ください。

◆問い合わせ 藤田保育所 ☎ 585-2374

農業委員会の動き

2月23日定期総会が開催され、次のとおり確認されました。

- ・農地所有権移転 1件
- ・賃貸借 2件
- ・合意解約 2件

・農地利用集積計画の決定

3月の農業委員会定例会総会は次のとおりです。傍聴においでください。

・日時 3月23日(日)午後1時30分

・場所 観月台文化センター大研修室

◆問い合わせ 農業委員会 ☎ 585-2890



まちの VOL.42

サークル

国見町将棋同好会

プロフィール

- ・代表者 玉手 芳正
- ・活動日 第2土曜日 午後1時から午後6時
- ・主な活動場所 観月台文化センター
- ・会員数 15人
- ・会費 将棋大会時のみ、1回1,000円
- ・連絡先 ☎ 577-2697 玉手芳正

国見町将棋同好会は、昭和48年に会として発足し、当時の会員数は現在よりも多く、世代を超えた交流の場としても活気に溢れていたそうです。現在は会員数15人で、毎月1回の練習会のほか、年1回の将棋大会の開催や県北将棋連合会の大会に国見町同好会チームとして出場するなどの活動を行っています。

将棋など家庭や職場、様々な場面で手軽なゲームとして親しまれていました。近年では、将棋は頭脳の格闘技として、勝負を争うゲームです。勝つためには相撲などと同じですが、心技体の向上の道が、頂点の名人位まで続きます。

また、子どもたちには頭脳の訓練、高齢者には脳の活性化による認知症予防など遊びながらも様々なメリットがあります。勝負においては、攻める手、守る手、逃げる手、大局観と様々な気づきと学びがあり、将棋を通して子どもたちの仲間づくり、高齢者、女性、あらゆる世代のコミュニケーションの場として関心もたれています。

将棋愛好会では、初心者大歓迎のことです。毎月第二土曜日の午後、将棋練習会を行っていますので、ぜひ見学に行ってみてください。会員の皆さんがお待ちしています。

笑顔のひろば

今月は藤田保育所の歯科検診の様子とももたん広場の様子をお届けします。日頃なかなか見ることができない、子どもたちの歯科検診。待っている間も、ドキドキ、でも始まってしまえば上手にお口を開けることができました。ももたん広場では、たくさんの子もたちが、元気に遊んでいました。



藤田保育所



ももたん広場



「あそびあそび」さんへ
ひょうしゅ 58人CA おめでとうございます！！

歡喜の声
山崎日菜

歡喜の声
安藤祥都

歡喜の声
安藤千紘

小さな天才たち

県北中学校
三年



心を込めて一针ひとりはり

2015 くにみ・つるし雛飾り展 ～一针、一针想いをこめて～

2月10日、太田久雄町長が森江野町民センターで開催中の「2015 くにみ・つるし雛飾り展」を訪問しました。つるし雛飾り展は、今年で8年目を迎え、森江野町民センターで3月4日まで開催され、多くの方が来場されました。また、来場者は、会員の指導を受けて、世界に一つだけの自分の針刺しを、制作していました。



がっちり握手をする太田町長と小野寺盛社長

トラフィックレンタリース 国見町へ進出

2月13日、観月台文化センターに東北を中心にレンタカーの事業展開を行っている、トラフィックレンタリースの小野寺盛社長が8月からの営業に向けて、太田久雄町長を訪問し、事業概要等の説明をしました。

今回の事業所の開設に伴い、新規雇用について今後調整し、地元から採用する予定とのこと。



岡崎教育長からジャンパーを受け取る三の輪俊さん

子どもたちの安全 私たちが見守ります

2月18日、観月台文化センターで国見小学校支援本部の安全ボランティア発足式が行われました。

安全ボランティアは16人、今後児童の登下校の安全の見守りや、声掛けを行います。ボランティアさんの目印は、腕章、ジャンパー、車に張り付けるステッカーとなります。



みでくなんしょ、うまぐでござい

寒い冬でも 仮設で元気に過ごしています

2月18日、上野台仮設住宅で曹洞宗復興支援室による行茶が行われました。今回はビーズブレスレット作りということで、彩豊かな天然石やビーズが用意されました。ビーズが小さく大変な作業となりましたが、参加者は出来上がったビーズブレスレットを腕にはめ、にこやかに眺めたり、作品を見せ合う姿も見られました。



全国大会に出場する玉手光次さん

全国大会での活躍を願い 奨励金を交付

2月20日、国見町青少年育成町民会議(会長 太田久雄町長)は、昨年10月に開催された全国選抜高校テニス大会東北地区大会硬式テニス男子団体戦で第3位に入賞し、福岡県で開催される全国選抜高校テニス大会 硬式テニス男子団体戦に出場する玉手光次さん(東高2年)に対し奨励金を交付しました。



技を決める県北中学校渡辺拓陽選手

お宝目指して 330人が熱い戦い(柔道)

1月25日毎年恒例の、「春一番、新春宝物争奪大会」が、県内外から330人の小・中学生が参加して行われました。この大会は参加者がそれぞれ「宝物」を賞品として持ち寄り、勝った順から選ぶことができます。会場は選手の熱気があふれ、勝った選手からは笑顔と歓声が上がり、もちろん手には宝物がしっかりと握られていました。



中央：保坂百香さん、右：岩城綾音さん

東北大会に出場する 選手に奨励金を交付

1月29日、観月台文化センターで、国見町青少年育成町民会議(会長 太田久雄町長)は、宮城県仙台市で開催される東北小学生インドアソフトテニス大会に出場する国見小学校6年の岩城綾音さんと保坂百香さん(国見ソフトテニススポーツ少年団)に対し奨励金を交付しました。



要望書を町長に渡す小坂地区町内会長

鳥獣被害対策への 支援を求めて

1月29日、小坂地区の各町内会長は、鳥獣被害防止対策に係る総合的な支援施策及び予算の確保についての要望書を提出しました。小坂地区は野生鳥獣による農作物被害が頻発しており、個人での防止対策では限界があるため、地域ぐるみ(地区共同)での侵入防止柵設置などの被害防止対策に取り組むための支援を求めました。



東北大会に出場する朝内梨々香さん

東北大会に出場する 選手に奨励金を交付

2月4日、観月台文化センターで国見町青少年育成町民会議(会長 太田久雄町長)は、昨年11月に開催された福島県高等学校新人体育大会剣道競技において第3位に入賞し、青森県で開催される東北高等学校剣道選抜優勝大会に出場する朝内梨々香さん(西高2年)に対し奨励金を交付しました。



町民に日頃の防犯が大事と訴える梅本さん

自分の身を自分で守るために 『梅本正行』講演会

2月4日、観月台文化センターで梅本正行講演会が開かれ、約80人が参加しました。特殊詐欺や振り込め詐欺などを例に、犯罪全般に対する防犯の大切さについての講演で、梅本さんは、防犯の初歩として家に鍵を掛けること。電話に対しては出る前に危機意識を持ち余裕を持って対応すること、事前に家族の間では合言葉を決めておくことなど具体的な取り組み方について、ユーモアを交えながら話をしました。



保健福祉課 保健係 ☎ 585-2783
E-mail:hoken@town.kunimi.fukushima.jp

高齢者肺炎球菌感染症定期予防接種について

平成 26 年 10 月 1 日から高齢者の肺炎球菌ワクチンが定期の予防接種になりました。平成 26 年度対象となる方へは平成 26 年 9 月下旬にお知らせしておりますが、接種を希望される方は平成 27 年 3 月 31 日までが接種期間となりますので早めに受けるようにしましょう。

●平成 26 年度対象者

65 歳	昭和 24 年 4 月 2 日～昭和 25 年 4 月 1 日生まれ
70 歳	昭和 19 年 4 月 2 日～昭和 20 年 4 月 1 日生まれ
75 歳	昭和 14 年 4 月 2 日～昭和 15 年 4 月 1 日生まれ
80 歳	昭和 9 年 4 月 2 日～昭和 10 年 4 月 1 日生まれ
85 歳	昭和 4 年 4 月 2 日～昭和 5 年 4 月 1 日生まれ
90 歳	大正 13 年 4 月 2 日～大正 14 年 4 月 1 日生まれ
95 歳	大正 8 年 4 月 2 日～大正 9 年 4 月 1 日生まれ
100 歳	大正 3 年 4 月 2 日～大正 4 年 4 月 1 日生まれ
101 歳以上	大正 3 年 4 月 1 日以前生まれの方
接種時点において 60 歳以上 65 歳未満の方で、心臓・腎臓・呼吸等に慢性で重い障害があり、身体障害者手帳 1 級に相当する方	

※過去に肺炎球菌ワクチンを接種した方は対象になりません。上記対象者でも町データで接種歴がある方へはお知らせしておりません。

※平成 27 年度から平成 30 年度は各年度に 65 歳・70 歳・75 歳・80 歳・85 歳・90 歳・95 歳・100 歳になる方が対象者になります。

3 月 1 日から 7 日は「子ども予防接種週間」です

4 月からの入園・入学に備えて、予防接種の接種漏れがないか、母子健康手帳で確認してみましょう。特に、現在、小学就学前の 1 年間の児童（幼稚園年長児）に相当する年齢の方で、麻しん風しん混合予防接種をまだ接種していない方は平成 27 年 3 月 31 日までが接種期間となっておりますので早めに受けるようにしましょう。

健康管理世帯調査台帳の記入について

町では、町民の皆様が、心豊かで健康な生活を過ごせるよう健康づくりの一環として毎年各種がん検診等を実施しております。

町で実施する各種検診において、受診希望の有無を把握したいと存じますので、全世帯の方に健康管理世帯調査台帳への記入をお願いいたします。

なお、記入についての説明書及び健康管理世帯台帳につきましては、地区の健康推進員を通じて配布いたします。回収につきましては、健康推進員の指定した回収期日までに、受診希望の有無を記入のうえ提出ください。

*** ニコニコ相談会 ***

対象者	実施日	実施時間	会場
国見町在住の妊婦 国見町在住の乳幼児及びその保護者	5 月 20 日(木)	午前 10 時から 午前 11 時 30 分	子育て支援センター (藤田保育所内)

【実施内容】 身体計測、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。
《持参するもの》 母子健康手帳、お子さんの飲み物（水筒にいれて）を忘れずに！
《申し込み方法》 前日まで保健福祉課または藤田保育所（☎ 585-2374）に電話でお申し込みください。

*** 乳児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
・3 か月児（平成 27 年 1 月生まれ） ・9 か月児（平成 26 年 7 月生まれ）	5 月 28 日(木)	午後 1 時 15 分から 午後 1 時 45 分	観月台文化センター 第 1 和室

【健診内容】 医師の指導、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて
9 か月児は、歯科衛生士による歯に関するお話も予定しています。
《持参するもの》 母子健康手帳を忘れずに！

*** 3 歳 6 か月児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
平成 23 年 10 月 1 日から 平成 23 年 12 月 20 日生まれの幼児	5 月 21 日(木)	午後 1 時 30 分から 午後 1 時 45 分	森江野町民センター

【健診内容】 ★内科と歯科の医師の診察、生活保健指導、視力・聴力検査などを実施します。
★心理判定による相談・指導…子育てに関する不安や悩み等、お気軽にご相談ください。
★健診該当者には後日健診票を郵送します。
《持参するもの》 母子健康手帳を忘れずに！

食育シリーズ

町では食生活改善推進員の皆さんと栄養士が出向いて、くにみ幼稚園の子ども達を対象に食育教室を開催しています。2 月は 2 回実施いたしました。

【年長組】 テーマ「正しい箸の使い方～豆つかみゲームを楽しもう～」



くらしの情報

お知らせ

貝田宿・さくらまつり

貝田宿さくらまつり実行委員会では毎年恒例の「貝田宿・さくらまつり」を開催します。当日は子ども山車が町内を練歩き、秋葉神社境内においては招福・七福神踊りの披露、貝田宿の魅力についての説明・写真展も同時開催されます。ぜひ、貝田宿・さくらまつりにお越しください。

▼日時 4月19日(日)午前10時

▼会場 貝田秋葉神社境内
貝田宿・さくらまつり実行委員会 阿部
☎585-2944



昨年の子ども山車

西根堰土地改良区 農地異動届

伊達西根堰土地改良区費の水利費賦課は、毎年4月1日現在の農地面積を基準に算定されます。平成27年度の水利費賦課の基準となる農地面積などに変更がある場合は、届け出をしてください。

▼届け出が必要な場合
・農地の売買などにより所有者が変わったとき
・地区除外をするとき
・経営移譲や死亡などで名義変更をしたとき
・農地の賃借があったとき
(水利費の支払義務者を確認してください)

▼届出期間 3月20日(金)
▼届出・問い合わせ 伊達西根堰土地改良区
☎582-2319

第40回元気セミナー「見てわかる、手のしびれの検査」

公立藤田総合病院では、地域の皆さんに向けて「元気セミナー」を開催しています。申込み不要・無料のセミナーですので、お気軽にお越しください。

▼日時 3月26日(日)午後4時から

▼場所 総合受付前ホール・シャングリラ
▼演題 「見てわかる! 手のしびれの検査」(神経伝導検査について)
▼講師 公立藤田総合病院 整形外科 関口泰史医師



関口泰史医師

「自動車の登録(移転・変更・抹消)はお済みですか」

自動車税は、毎年4月1日午前零時現在で、車検証に記載されている「所有者」又は「使用者」に課税されます。

「所有していない自動車の納税通知書が届いた」、「納税通知書が届かない」などのトラブルを避けるため、自動車を譲渡、廃車等したとき、又は転居したときは、3月31日までに最寄りの運輸支局等で手続きを済ませましょう。

●登録手続き 東北運輸局福島運輸支局 ☎050-5540-2015(登録部門)

●税に関すること 福島県北地方振興局県税課 課税第2課自動車税チーム ☎523-0051



《障がい者相談》
・開催日 21日(日)
・場所 観月台文化センター 第2和室
・時間 午前10時から午後4時
※障がい者に関する様々な相談を受付しますので、ぜひご利用ください。



4月の相談会

《心配ごと相談》
・開催日及び相談員
9日(日) 佐藤ユキ子 さん
井砂のり枝 さん
23日(日) 斎藤 勇子 さん
大津美代子 さん
・場所 観月台文化センター 第2和室
・時間 午前9時から正午

国家公務員「国税専門官採用試験」のお知らせ

仙台国税局では、税務職員を募集しています。国税専門官は、国の財政を支える重要な仕事を担い、税務署等において、調査・徴収・検査や指導などを行う税務のスペシャリストです。

▼申込み受付期間
インターネット…4月1日
から4月13日(日)
郵送又は持参…4月1日
から4月2日(日)
仙台国税局人事第二課試験研修係

パートタイム労働法が4月1日改正

事業主はパートタイム労働者に対し、契約期間や賃金等の他、昇給・賞与・退職手当の有無などの事項に加え、パートタイム労働者のための相談窓口について文書交付により周知が必要となります。

☎福島労働局雇用均等室
536-4609



広報くみに掲載された写真を希望する方は、企画情報課 ☎585-2927 までご連絡ください。

「火災に注意しましょう」

この時季は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなっております。火の取扱いには十分注意しましょう。

ゴミ出しルールとマナーを守りましょう!

「収集日・分別区分を守り、ごみを出してください。」

戸籍の窓口からのお知らせ

毎週木曜日は住民生活課戸籍係窓口業務を午後7時まで延長しています

《窓口延長の日》 3月12日、19日、26日
4月2日、9日、16日、23日、30日

《交付できる証明書等》住民票・戸籍証明書、印鑑登録証明書の交付、印鑑登録、戸籍の届出

※取扱いできない手続き 転入・転出・転居等の住所異動の届出、税証明書等の交付はできません。

※詳しくは、戸籍係までお問い合わせください。

☎住民生活課戸籍係 ☎585-2115

戸籍の窓口

1月21日～2月20日受付分

●結婚おめでとう●

高野 憲一さん (大坂)
八島恵美子さん
小島 広行さん (第12)
吉田 悠 さん

●誕生おめでとう●

大越 陸翔ちゃん (山崎宮館)
政寛さん 亜裕美さん



●おくやみ申し上げます●

後藤 正幸さん	69	(高城)
佐藤 庄三さん	86	(山根)
渡部スミコさん	81	(高城)
渡邊 セツさん	87	(太田川)
佐野 玲子さん	49	(内谷東)
佐久間勝雄さん	82	(宮町北)
菊地 半藏さん	92	(石母田原)
佐藤 年光さん	86	(貝田)
菊地 アキさん	100	(石母田原)
野田 チイさん	83	(第11)
菊地 ハツさん	75	(源宗山東)
佐久間隆俊さん	87	(第2)
南 祐徳さん	49	(上野)
佐藤喜美子さん	70	(高城)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯 (平成27年1月31日現在)

人口	9,783人	(△17)
男	4,701人	(△6)
女	5,082人	(△11)
世帯	3,400世帯	(△5)

※ 広報くみにみでは住民基本台帳人口を掲載しています。

生涯学習 つうしん



国見町教育委員会生涯学習課
 (観月台文化センター)
 ☎(585)2676 FAX(585)2707
 E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
 http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

ドッジボールで結ぶ友情 スポーツ交流ドッジボール大会



狙い定めるまなざしは真剣そのもの

2月21日、国見小学校体育館で国見町スポーツ少年

団交流ドッジボール大会が5団体約80人の児童が参加し、開催されました。

試合は参加者のくじ引きにより男女混合の6チームに分かれ、予選・決勝戦が行われました。団の垣根を越えた混合チームで試合を楽しみながら、選手は互いに友情を深めました。閉会式では優勝チームの選手にメダルが授与され健闘を称えました。

盤上で熱い勝負！ 新春囲碁・将棋大会



駒を操り真剣勝負

2月1日、第23回国見町長杯新春囲碁将棋大会は、囲碁・将棋愛好者34人が参加し、観月台文化センターで開催しました。

参加者は、各クラスに分かれ優勝を目指し熱戦を繰り広げました。囲碁の部Aクラスは城田斯長さん、将棋の部は玉手芳正さんが優勝し、それぞれ町長杯を手に入れました。

閉講式&閉所式

＊公民館事業5学級＊

公民館事業である学級・教室が一年間の活動を終え、閉講式・閉所式を迎えました。

- ①成人学級閉講式 (2月13日)
- ②少年仲間づくり教室閉講式 (2月14日)
- ③くにみ女性教室閉講式 (2月18日)
- ④国見っ子わんぱく広場閉所式 (2月21日)
- ⑤阿津賀志学級閉講式 (2月24日)

各事業に対しまして、町民のみなさんご理解、ご協力ありがとうございました。




- ### 行事のお知らせ
- 3月10日 ㊦ 子ども移動図書館 (国見小2年生)
 - 12日 ㊦ 子ども移動図書館 (国見小1年生)
 - 14日 ㊦ みみずく おはなし会
 - 19日 ㊦ ブックスタート
 - 23日 ㊦ 図書室閉館 (~27日㊦)
 - 27日 ㊦ 子育て応援講座「親子クッキング」
 - 4月6日 ㊦ 休館日

観月台文化センター 図書室・児童室臨時閉館のお知らせ

図書室・児童室は、蔵書点検、本の補修作業のため下記の期間臨時閉館します。

◆期間 3月23日㊦から27日㊦

◆お願い
貸し出しが2週間を過ぎている本は、至急返却してください。



藤田城跡を学ぶ 「ふるさと歴史教室」

2月21日と28日に、観月台文化センターで「第3回・4回ふるさと歴史教室」を開催し、のべ約150人が参加しました。

「南北朝動乱と伊達郡藤田城」をテーマに、笠松金次氏(郷土史研究会会員)から、2回にわたり藤田城と南北朝動乱の関係性について詳しく解説いただきました。



多くの参加者が集まった歴史教室

地域の歴史を学びました。また、初回終了後は、徒歩で藤田城跡を見学し、城の構造など説明を受けました。

趣きある作品が完成 工芸教室〜ミニチュア民家づくり〜

2月5日から3回にわたり、観月台文化センターで、



茅葺きに風情を想い癒しかな♪

工芸教室を開催しました。ふる里工房の井上秋月氏を講師に、14人が参加し、茅葺き平屋のミニチュア古民家づくりに挑戦。細かな作業に苦戦しながらも、それぞれ個性的な作品ができて上がり、「もっと大作に挑戦したい。」との声も聞かれました。



く に み カレンダー



日	月	火 10	水 11	木 12	金 13	土 14
		<ul style="list-style-type: none"> 3月議会本会議 広報くにみ 3月号発行日 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 第3 (午後1時半~) 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 藤田 (午前10時~) 耕谷 (午後1時半~) 心配ごと相談 戸籍窓口延長日 (午後7時まで) 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 第8・第9 (午後1時半~) 県北中学校卒業式 ももたんFM 	
15	16	17	18	19	20	21
<ul style="list-style-type: none"> 第2回国見の おいしい料理自慢 レシピコンテスト 食の安全・安心 講演・実演会 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 泉田下 (午後1時半~) 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 徳北 (午後1時半~) 障がい者相談 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 第1 (午後1時半~) 粗大ごみ収集日 くにみ幼稚園修了式 	<ul style="list-style-type: none"> 3月議会本会議 いきいきサロン 第2 (午後1時半~) 乳幼児健診 3・9 か月 戸籍窓口延長日 (午後7時まで) 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 大木戸 (午後1時半~) 藤田保育所修了式 ももたんFM 	春分の日 <ul style="list-style-type: none"> 第4回歴史まちづくり シンポジウム
22	23	24	25	26	27	28
	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 板橋 (午前10時~) 国見小学校卒業式 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 石母田 (午後1時半~) 乳幼児健診 1歳6 か月 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 貝田 (午後1時半~) 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 泉田中 (午前10時~) 大枝 (午後1時半~) 心配ごと相談 戸籍窓口延長日 (午後7時まで) 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 源宗山 (午前10時~) 光明寺 (午後1時半~) ももたんFM 	
29	30	31	4/1	4/2	4/3	4/4
	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 高城 (午後1時半~) 		<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 太田川 (午後1時半~) 粗大ごみ収集日 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 塚野目 (午後1時半~) 戸籍窓口延長日 (午後7時まで) 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 第4 (午後1時半~) 	<ul style="list-style-type: none"> 藤田保育所入所式
4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11
	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 川内 (午後1時半~) 国見小学校入学式 県北中学校入学式 観月台文化センター休館日 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 内谷・鳥取 (午後1時半~) 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 第3 (午後1時半~) くにみ幼稚園入園式 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 耕谷 (午前10時~) 藤田 (午後1時半~) 心配ごと相談 戸籍窓口延長日 (午後7時まで) 	<ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン 第8・第9 (午後1時半~) 広報くにみ 4月号発行日 	



放送日	放送内容
3/13	桜に込める、町への想い

放送日	放送内容
3/20	歴史、伝統、生活文化を活かした街づくりを
3/27	子どもたちの元気を音楽にのせて

あ と が き

春は別れと出会いの季節。そして、子どもたちが大人への階段を一段昇る季節です。子どもたちが大きくなるのは楽しみでもあり、ちょっぴりさみしい気分にもなります。親はいつまでも、親なんですね。 (NK)